

基本理念：ふるさと福井への誇りと愛着を培い、自ら学び考え行動する力を育む 教育県・福井

- ・子どもたち一人ひとりが得意分野を伸ばし、それぞれの夢や希望を実現する「突破力」を身に付け、ふるさと福井への誇りや愛着を持ちながら、グローバルに活躍することができる教育を推進する。
- ・県は市町と連携して、教員の自主的な学びをさらに促進するとともに、社会のニーズに合った学校・学科の整備を進める。

<教育振興基本計画との関係>

- ・知事は教育委員会と協議・調整して本県教育の総合的な目標、根本方針である「教育に関する大綱」を策定
- ・大綱に基づき、教育委員会は具体的な施策のアクションプランとして「教育振興基本計画」を策定・実行

方針1：夢や希望を実現する「突破力」を身に付ける教育の推進

高校では、小・中学校の高い学力を十分に活かしきれていないため、進路・進学指導体制を強化し、一人ひとりの目標を実現
 小・中学校では、平均的な学力だけでなく、個々の進度に応じた教育や児童・生徒の主体性を高める教育を推進
 変化が激しく複雑化した社会の中、知識を活用して課題を解決していくPISA型学力や新たな大学入試制度改革に対応するため、知識の活用や意見発表を重視した授業改革を推進

- ・各高校で志望大学別指導を強化。新たな学科の設置を検討
- ・難関大学対策のため土曜特別講座を開設
- ・退職した教員等による既卒生の進学支援・指導体制を整備
- ・英語スピーキング力の評価、学校選択問題の導入など高校入試制度改革
- ・中学校では英語などの習熟度別学習を充実、小学校では理科教科担任制を拡充
- ・「福井型18年教育」に基づく保幼小接続を県内全域で進めるための人材を育成

方針2：グローバルな社会で活躍するための「話せる」外国語教育の推進

国内外を問わず産業・観光など海外との交流が活発化し、これからの時代を生きる子どもたちが実生活で役立つ英語など外国語を学ぶ必要に迫られる中、本県の生徒や教員の英語力は高いものの、実際に「話す」ことに課題があることから、国に先駆けて会話を重視した英語教育改革を推進

- ・小学5、6年生での英語教科化を国に先行して実施
 教員研修の充実、外部人材や退職教員の活用等により小学校英語指導体制を整備
- ・中学校でオールイングリッシュによる英語授業を拡充。中高生の外部検定受検の促進
- ・外部検定等を活用して中学・高校英語教員の英語力・授業力を向上

方針3：ふるさと福井に誇りと愛着を持ち将来の福井を考える人を育てる

「ふくい創生教育」の推進

人口減少が進む中で、早い時期からふるさと福井の偉人や郷土の歴史、自然や伝統、産業などを学ぶ機会を充実させ、ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成

- ・中学・高校で五箇条の御誓文など歴史的題材や福井の先人から学ぶ授業を増加
- ・高校生が地域の課題を調査・研究して魅力を提言・発信する探究プロジェクトを推進
- ・福井と都会の生活を比較しながら将来の生き方を考えるライフプラン学習を充実
- ・里山里海湖研究所と連携した自然体験や自ら企画・運営する体験学習を増加

方針4：社会への参画意識を高め、高度な専門知識・技能を身に付ける教育の推進

ICT化が進展する複雑化した社会で、選挙権付与年齢引き下げなど子どもたちの社会的成熟が求められる中、社会参画意識を高める教育や高度な知識・技能を身に付ける職業教育の充実により自立した社会人としての意識・能力を育成

- ・企業の協力を得た資格取得支援や長期企業実習の拡充など職業教育を充実
- ・選挙権付与年齢の引き下げに対応した社会参画意識や意思決定力を育てる教育を推進
- ・高校では清掃活動、福祉施設での介助やイベント運営などボランティア参加を促進

方針5：安全・安心で誰もが楽しく学べる学校づくりの推進

社会的に問題となっているいじめ事案を受けた対策の徹底や東日本大震災など過去の災害を教訓とした防災教育など学校の危機管理体制を強化
障害等に合わせ一人ひとりの児童・生徒にICT機器を活用するなどきめ細かな対応の徹底や社会的な自立に向けた一般就労の支援など特別支援教育を充実

- ・いじめ、不登校への未然防止と早期解消を徹底
- ・「ふくいスマートルール」などインターネットの使い方を含めた情報教育を充実
- ・障害のある児童・生徒に対する個別支援・指導計画の策定やICT機器を活用した学習支援など個々のニーズに合わせた特別支援教育を充実

方針6：「福井の教育」を支える教員の指導力をさらに向上

福井の教育は教員一人ひとりの熱心さと質の高さに支えられ、教員の果たす役割は極めて重要である。全国トップクラスにある福井の教育をさらに高めるため、教育研究所の機能・体制を強化するとともに、教員の自主的な研究活動の支援や外部人材の導入を推進

- さらに、全国から注目を集める「福井の教育」を発信
- ・教育研究所の機能・体制を強化してICTや大学入試制度改革、課題解決型学習など新たな教育課題に対応する外部人材を活用した研究や研修を推進。福井独自の教育や福井の偉人など「福井の教育」を発信
- ・退職教員による若手教員の研修支援、児童・生徒の学習支援
- ・地域学習の支援や専門性の向上のため外部人材の導入を推進

方針7：児童・生徒数の減少や社会のニーズに対応する学校・学科の整備の推進

ICT化の進展やグローバル化に対応するため引き続き学校・学科の再編や学校施設・設備の整備を進めるとともに、公立学校と併せて本県教育を支える私立学校の魅力向上を支援

- ・高校再編整備計画に基づく実施計画を作成して再編を推進
- ・夜間定時制を昼間に移行。就学実態に合わせて定時制高校の教育内容を充実
- ・ICT機器、Wi-Fi環境など新たな教育に対応する設備整備と学校施設の長寿命化を推進

方針8：生涯にわたる学びをふるさとに還元する仕組みづくりの推進

超高齢社会に活力を生み出すため、これまでの講座中心の生涯学習から、自ら学ぶだけでなく、学びを地域での実践につなげる新たな仕組みを構築して、元気な高齢者などによるふるさと福井への貢献を促進

- ・実践型の講座を充実して受講者の地域貢献活動を促進
- ・市町や民間講座との役割分担を進め生涯学習センターの機能を見直し
- ・自然体験やふるさとを知る体験を中心に青少年施設の体験プログラムを充実

方針9：自らの感性を磨き、地域への愛着を深める文化活動の充実

幸福度日本一の本県の一人ひとりのライフスタイルの充実のため、本物の体験を中心とした芸術活動や読書・創作活動の充実により県民の感性を磨くとともに、本県の歴史的な文化財・文化遺産の活用・発信などにより地域への誇りや愛着を育成

- ・県外音楽家による直接指導・鑑賞機会の拡充など芸術に触れる体験を充実
- ・図書館・文学館を人と情報の交流拠点として県民の読書・創作活動等を支援
- ・丸岡城の国宝指定、越前和紙のユネスコ無形文化遺産登録を推進
- ・文化財指定の促進。郷土作家ゆかりの資料などのコレクションを充実

方針10：福井しあわせ元気国体の優勝に向けた競技力の向上とスポーツの振興

福井しあわせ元気国体に向けた競技力の向上を進め、県民の活力を喚起するとともに、国体の成果を活かしたスポーツ振興を推進
小・中学生の高い体力を将来の運動習慣や健康づくりにつなげる仕組みを充実

- ・実績のある指導者を派遣して強化校・強化指定選手を育成
- ・「スポジョブふくい」を通じたU・Iターンによる有力選手確保を推進
- ・県と全市町が連携した東京オリンピック事前キャンプの誘致を推進
- ・福井国体の成果を活かして県民スポーツを振興